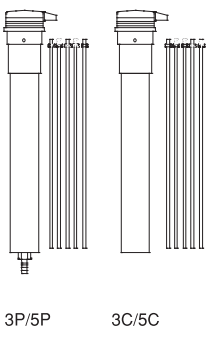
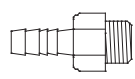
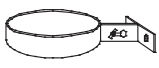
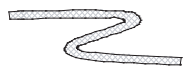
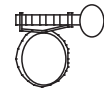


# 水位計の施工及び取扱説明書

## ■部品の確認

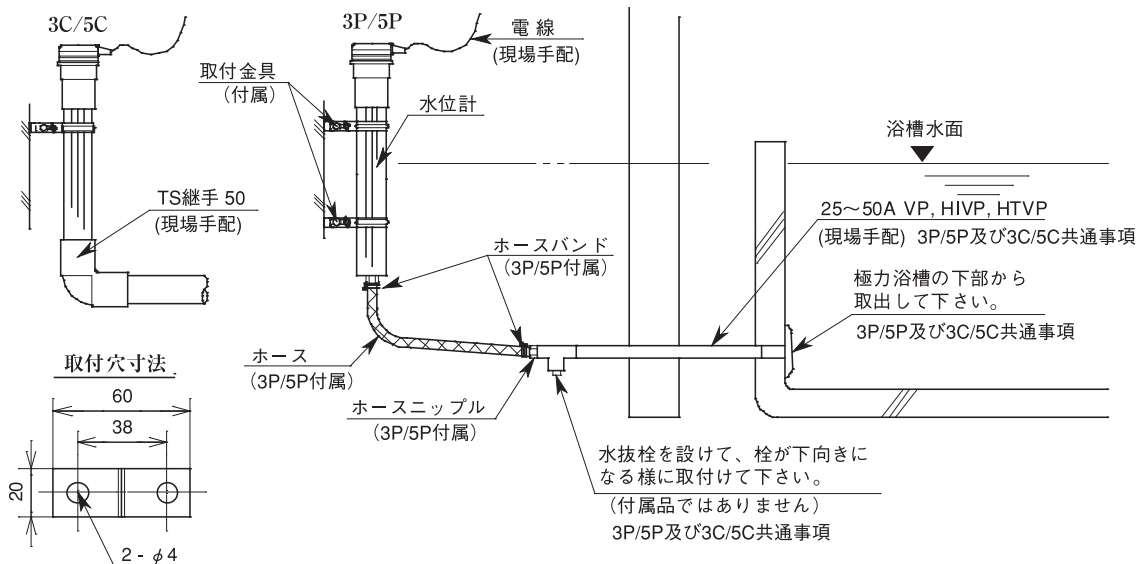
梱包内には下記の部品が入っております。取り付けの前にご確認下さい。

商品名	形式	個数	商品名	形式	個数
水位計本体	 3P/5P      3C/5C	1 式	ホースニップル		3P/5P
電極棒5本 (3C/3Pは3本)			1 個		
取付金具	 AYボルト皿頭M4×40	3P/5P	ホース		3P/5P
アンカーボルト付		2セット	約2m		3C/5C
		3C/5C	付属無し		付属無し
	1セット	3P/5P	ホースバンド		2セット
		3C/5C	付属無し		

## ■施工上の注意

- ・ 浴槽より浴槽金物（別売品）等で25～50A配管を取出し、下記の方法で水位計を配管して下さい。  
また、浴槽の取出し口はできる限り浴槽の底に近い位置に設けて下さい。
- ・ 3P/5P付属のホースは、適当な長さに切断してご使用下さい。
- ・ 配管及びホースは、浴槽に対して下り勾配とし、浴槽を排水した場合管内の水が浴槽へ戻るように配慮して下さい。
- ・ 水位計が垂直になる様に壁面へ固定して下さい。（AYボルトの場合ドリルはφ7.5mm）
- ・ 配管が逆U字等になると水面を検出できない場合がありますのでご注意下さい。
- ・ 水位計電極保持器を浴槽水面より低く設定しますと、浴槽水が逆流し水位計の電気部品を損傷させます。

**水位計電極保持器は、必ず満水位点より高く設置して下さい。**



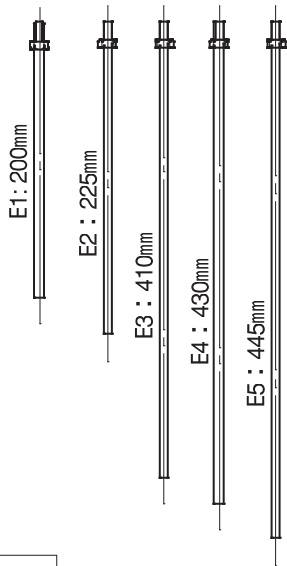
## ■ 電極棒の切断と取付け

- ・ 電極棒は片ネジの長さ500mmのもの5本 (3P/3Cは3本) が入付品です。
- ・ E1～E5 (E1～E3) に使用する各々の長さのネジの反対側で切断して下さい。
- ・ 切断面はバリ等が残らないように処理して下さい。

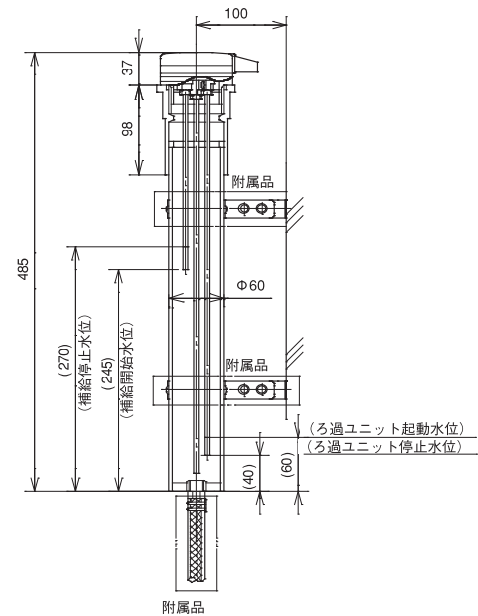
### 3P/5Pの場合

- ・ 棒の長さは下記を参考の上、設置場所の状況の応じて変えて下さい。
- ・ 3Pの場合はE3を下図のE5の長さにして下さい。

電極棒切断参考寸法



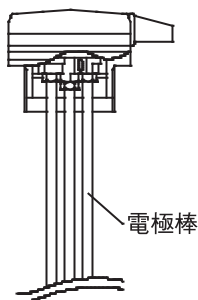
参考寸法の電極棒を取付けた場合の水位検出位置



### 3C/5Cの場合

- ・ 直結型は微調整が出来ません。浴槽に水を張って満水位点を定め、それに合わせてE1電極棒の長さを決定して下さい。
- ・ E2はE1プラス20～25mmが一般的です。
- ・ E4はポンプ空転停止です。空運転しない範囲の下限に設定して下さい。
- ・ E3はE4マイナス20mmが一般的です。
- ・ E5はE4プラス15mm以上に設定して下さい。

## ■ 電極棒の取付け



電極保持器の裏面に電極棒取付け用のメネジがありますのでターミナル番号と切断した棒の長さに注意してねじ込んで下さい。

## ■ 電線の接続

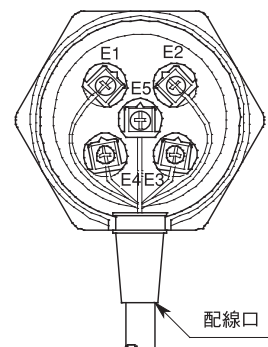
- ① 水位計のキャップを外して下さい。
- ② 配線口から電線を引き込んで下さい。
- ③ E1～E5まで接続して下さい。

E1：補給停止水位  
E2：補給開始水位  
E3：ろ過ポンプ起動水位  
E4：ろ過ポンプ停止水位  
E5：コモン(アース)

### 3P/3Cの場合

E1：補給停止水位  
E2：補給開始水位  
E3：コモン(アース)

5P/5C 用参考図



- ④ キャップを元通り取り付けて下さい。

※電線は、水面微調整の場合の水位計の上下や電極清掃の場合の保持器の持ち上げに対応出来る様、ゆとりを持たせて下さい。

## ■ 設置後の確認

### 3P/5Pの場合

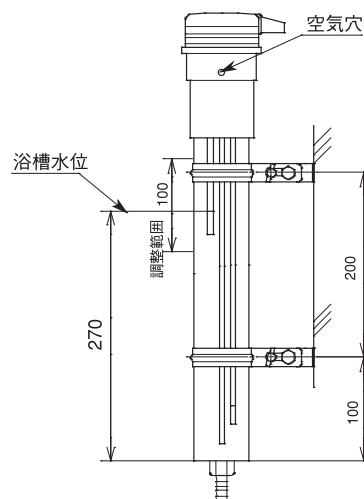
- ・ 浴槽水位の微調整が必要な場合は、水位計、取付金具の蝶ナットをゆるめ、水位計を上下に移動させて下さい。(調整範囲100mm)

水位計管を上げれば同寸法だけ浴槽水位は上がり、下げれば水位は下がります。調整後、蝶ナットを締めて水位計管を固定して下さい。

### 3P/5P及び3C/5C 共通

- ・ 希望の水位とならない場合は、まず水位計の接続管内のエアだまりが考えられます。水位計に水が上がっていることを確認下さい。
- ・ 空気穴が塞がれた場合、正確に作動しません。空気穴が詰まっていないか定期的に確認下さい。

3P/5P 用参考図



## ■ 水位計の清掃

- ・ 設定水位通りにならない場合、水位計の電極棒に汚れが付着している事が考えられます。電極棒を抜き出し、乾いた布等で定期的に汚れを取り除いて下さい。(3～6ヶ月に1回程度)

## ■ 消毒剤の投入

- ・ 水位計に消毒剤を投入出来るタイプは、直結型の3C/5Cです。
- ・ コネクター部を持ち上げ電極棒を全て外部に出してから筒に消毒剤を投入して下さい。
- ・ 消毒終了後は、筒内に高濃度の薬剤の残留が無い様に配慮して下さい。
- ・ 薬剤により電極保持器及び電極棒が損傷する場合がありますので消毒の都度点検を行って下さい。

## ■ その他のご注意

- ・ 水位計の点検や清掃を行う際に水がでます。また不慮の漏水の二次被害を防止する為、床面の防水処理や排水設備等、適切な処理を行って下さい。